

勝海舟設計の台場着色写真

開港資料館であすまで展示

幕末の政治家・勝海舟と
横浜のかかわりを振り返る



明治初期に撮影されたと思
われる神奈川台場の写真
(山本博士さん所蔵)

写真などが展示されている
特別資料展「勝海舟と横浜」
が23日(金)まで横浜開港資料
館で行われている。

勝海舟は、横浜開港の翌
年の1860年に現在の神
奈川区神奈川1丁目に完成
した「神奈川台場」の設計
を担当。この台場は主に海
岸警備のために使われた
が、外国船を迎える際に祝
砲をあげることも多かつ
た。この場所は現在、公園

になっているが、今年3月、
台場を模した石垣を造るな
どしてリニューアルし、一
般にも開放されている。

今回は、明治初期に撮影
されたと見られる神奈川台
場の着色写真が公開される。
この写真は神奈川台場や横
浜の歴史を調べる活動を行

っている神奈川区在住の山
本博士さんが昨年末、イン
ターネットオークションで
米国の写真店から購入した
もの。モノクロ写真に色を
付けたと思われ、台場とそ
の付近の民家が写っている。
山本さんによると、神奈川
台場の着色写真は珍しいと
いう。ほかにも、勝に関す
る資料が展示されている。
この特別資料展は入館無
料。問い合わせは同館 ☎0
45・201・2100へ。